



未来へつなぐ、いのちのバトン
シロオリックスが初産としては国内最高齢の15歳で赤ちゃんを出産しました！
スタッフと一緒につないだ奇跡の命



2026年3月27日撮影（4日齢）

アドベンチャーワールドでは、2026年3月23日（月）、シロオリックスの赤ちゃんが誕生いたしました。母親は15歳という、国内最高齢での初産を迎えました。

シロオリックスはかつて野生下では絶滅したとされていましたが、世界的な保護活動により2023年、レッドリストのランクが「野生絶滅（EW）」から「絶滅危惧種（EN）」へと改善された、「奇跡の復活」を象徴する動物です。現在、国内では約100頭が飼育されており、園館同士が協力して種を未来へつなぐための取り組みが続けられています。

当パークにおいても、パートナー不在により一時は繁殖を諦めかけていた15歳の母親が、2024年10月に新たなオスを迎えたことで、待望の命を授かりました。出産は母子ともに命がけの険しい道のりとなり、一時は無呼吸状態で生まれましたが、スタッフによる懸命な蘇生措置の結果、力強く産声を上げました。現在は、母親の産後の回復を考慮し、スタッフによる人工保育で大切に育てており、元気に走り回る姿を見せています。世界中で大切に守られてきた命が、ここ白浜でまたひとつ、未来へとつながりました。

2026年4月11日（土）より、母親たちが暮らすエリアでの群れへの合流を目指す公開練習を行います。

この絶滅の淵から復活を遂げた種の歴史と、死線を乗り越え力強く芽吹いた生命力に、明るい未来への願いを込め、赤ちゃんには希望を意味する「ホープ」と名付けました。

【シロオリックスの赤ちゃんについて】

- 誕生日：2026年3月23日（月）
- 性別：オス
- 個体名：ホープ
- 頭数：1頭
- 体重：8kg（4月2日測定）
- 親情報：父親 2023年 7月 8日 長野市茶臼山動物園生まれ（2歳）
2024年10月 9日 搬入
- 母親 2010年 9月 4日 アドベンチャーワールド生まれ（15歳）



【公開について】

- 公開開始：4月11日（土）～
- 公開場所：サファリワールド内 キリン寢室前小運動場
- 公開時間：午後1時45分～午後2時15分 ※今後様子を見ながら延長していく予定です。

※サファリワールドを歩いて回るウォーキングサファリでご覧いただけます。

※場所によっては、赤ちゃんをご覧いただけない場合もございます。

※天候や動物の健康管理上の理由で、公開内容を変更・中止する場合がございます。

【飼育頭数】

今回誕生した個体を含め、7頭（オス2頭・メス5頭）を飼育しています。

【アドベンチャーワールドでのシロオリックス飼育・繁殖について】

- 1980年10月 : 飼育開始
- 1982年 2月 : 初めて赤ちゃんが誕生。以降、2010年までの間で37回の出産で計36頭の赤ちゃんが育成
- 2025年10月 2日 : 15年ぶりに1頭の赤ちゃんが誕生
- 2026年 3月23日 : 1頭の赤ちゃんが誕生

【シロオリックスについて】

分類：偶蹄目ウシ科

学名： *Oryx dammah*

英名： Scimitar-horned Oryx

生息地：かつてはサハラ砂漠・サヘル地帯に分布していたが、20世紀後半以降、乱獲・環境変化により野生下個体群は消失。近年は、チャド・チュニジア・モロッコで、飼育下個体の野生下への再導入が行われています。

繁殖：2～3歳で性成熟を迎えます。約240から260日の妊娠期間の後、1度の出産で1頭の子を出産します。生まれたてのシロオリックスは体重約6～7kgで、母親の保護の下で成長します。生まれたばかりは淡いベージュ

（黄褐色）の体ですが、生後5か月頃にはシロオリックスらしい白い体へと成長します。

寿命：飼育下での寿命は20年です。

特徴：体長は約1.5メートルで、長い湾曲した角が特徴的です。オリックスの仲間では唯一、角が後ろに向けてカーブを描いていて、長さは1.2mにもなります。体は完全に白色ではなく、首や脇腹、後肢などが赤茶色になっています。食べ物からの水分だけで、水を飲まずに長時間過ごすことができます。

